

平成30年度 自転車活用推進功績者表彰 受賞者一覧

【個人：2名】

○谷垣 禎一

- ・1999年2月に、「自転車活用推進議員連盟」を結成（共同発起人）し、自転車活用推進議員連盟会長として、「自転車活用推進法」の制定に貢献した。

○森 兵次

- ・沖縄県最大のスポーツバイク専門店・沖縄輪業を経営するかたわら、「ツール・ド・おきなわ」の実現に奔走。
- ・1989年の開催以降、参加者数は順調に推移し、現在では約5000人が参加する日本有数のサイクルイベントに成長し、沖縄が「サイクリング・アイランド」と呼ばれる基礎となった。

【団体：4団体】

○アンデックス株式会社

- ・日本の道、日本人の体型などを考慮し、オリジナル・スポーツサイクル「NAGI」を開発し、販売しているほか、同社の自転車の安全性が評価され、県内のレンタサイクルや広島県警のサイクルポリス隊の自転車に採用されている。
- ・サイクルショップやインフォメーションセンターを拠点としたタイムリーな情報発信や故障車対応などにより、しまなみ海道のおもてなしの向上やイメージアップ、利便性向上に取り組んでいる。

○英明高等学校

- ・自転車の交通安全や交通マナーに対する意識を高め、事故防止を図るため、「交通安全教育の推進」「校内交通安全インストラクター養成講習の開催」「通学用自転車の点検整備の実施」「生徒・教職員による街頭交通安全指導の実施」などの取り組みを行っている。

○ヤマハ発動機株式会社

- ・企業実証特例制度を活用し、新たな規格による安全性の高いリヤカー付三輪電動アシスト自転車を開発した。

○輪の国びわ湖推進協議会

- ・滋賀が誇る「びわ湖一周サイクリング(ビワイチ)」をキーとしてムーブメントをつくろうと、滋賀を中心に、京都、大阪の19の団体・事業者が広域連携し、「輪の国びわ湖」推進に向けた調査・研究事業」「『輪の国びわ湖』Webサイトの運営事業」「『輪の国びわ湖』広報事業」「びわ湖一周認定証の発行事業」といった多様な事業を展開している。